

22 世紀八幡ルネッサンス運動（略称：八幡ルネ）企画作業チームニュース	
ひるば	
目的 八幡市民の幸福の増進のために活動する。古い歴史を有する八幡の秀でた伝統を継承し、八幡市民の総意と英知を結集して活動する。町の隅々にわたり高い関心を払い、たくましい意志と情熱を貫いた粘り強い行動で、光とるおいある生活と文化を享受するように努める。	
■発行 行：22 世紀八幡ルネッサンス運動 企画作業チーム ひろば編集部 ■事務所 所：八幡市八幡高畑 10-76 TEL/FAX075-981-6505 090-3710-4842 ■橋本連絡所 所：八幡市橋本興正 7-4 075-971-9488 ■男山連絡所 所：八幡市男山指月1-12 080-3780-6140 ■川口連絡所 所：八幡市川口東扇 1-4 080-3775-8133 ■振込口座 座：京都中央信用金庫八幡支店 普通 5243582 22 世紀八幡ルネッサンス運動	

「遊びながらエコを考える
三世代交流イベント」開催

3 月21 日、市役所東側広場でユニークなイベントが開催されました。コロナ禍も落ち着き、子どもたちは待ってましたとばかり、プラトンボや厚紙ブーメランを飛ばし、火起こし体験やカエルの卵スライムづくりに夢中になったり、自転車をこいで発電したり、熱気球に親子で歓声を上げていました。

午前の部のオープニングは「和太鼓 どんど鼓」の勇ましい響きとリズムが始まりました。「どんど鼓」は、鬼太鼓座・鼓童とも繋がりのある30 余年の歴史ある太鼓集団です。子どもたちが打ち鳴らす太鼓の音色は心に響きます。

広場の中央には、「NPO 法人八幡たけくらぶ」の皆さんが手作りされた大きなステゴサウルスの骨格が空き缶の中にめつと立ち、ひときわ目を引きました。「八幡たけくらぶ」は放置竹林を整備しながら、竹を工芸品に生まれ変わらせて、八幡の竹をアピールしています。「環境の変化が恐竜をも絶滅させた」というメッセージを子どもたちに伝えていました。

午後の部のオープニングは、男山中学校吹奏楽部の演奏で盛り上がりしました。髭男dismの曲やスウィングジャズ「Sing Sing Sing」などを披露して、聴く人たちの心を一つにしていました。演奏中に無情の雨が



↑どんど鼓の子どもたちによる力強い演奏

降ってきましたが、めげることなくフアイトで乗り切ってくれました。

また、会場でさまざまな遊びを提案し、実演・指導してくださった野村治さん、山村元秀さんはもちろん、京都八幡高校南キャンパス・ボランティア部の皆さんの温かな心のこもったサポートにも感謝、感謝！です。

このイベントは、八幡市の子ども、中学生、高校生、そして大人たちの、文字通り三世代が力を合わせてくださった結果、実現できたものです。

そして、八幡市の美化運動、八幡市の環境をグローバルな視点からみつめなおし、「エコを考える」機会になればと、願ってやみません。



↑京都八幡高校南キャンパスボランティア部のみなさん



↑八幡たけくらぶの見事なステゴサウルス



↑男山中学校吹奏楽部の心地よいリズムにスウィング！



↑遠くへ飛ばせ！ プラトンボで勝負！



↑マイギリ式火起こし器でサバイバル体験



↑空高く上げれ！ 熱気球

◆イベントの感想

一部掲載させていただきます。
ありがとうございました。

八幡南高校のボランティアアクラブのメンバーには大変お世話になりました。熱気球でのマイクを持った進行、火起こし体験、ガリガリトンボ、カエルの卵スライム、プラトンボ、ブーメラン、フタバガキ、太陽光発電、どれも完璧な高校生のサポートでした。カエルの卵スライムもミスなしでした。つまり、丁寧に分量を計って丁寧に教えられたからだと思います。嬉しいサポートでした。若い力を借りたコーナー運営こそ、イベントの特徴となりました。和太鼓、吹奏楽も良かったです！(野村)

数日前の天気予報では、晴マークだったのに、当日は午後から雨模様。午後のオープニング行事である、男山中学校の吹奏楽部の演奏中に小雨が落ちてきた。急遽、文化センター正面の庇のある場所に移動して演奏は続けられた。演奏だけでなく、曲名を紹介する彼女らの姿に胸が熱くなってきた。指揮棒を振る先生は、雨が降ってきたことで、あの子らは却って気合が入っていたとのこと。たのしい限りである。(三郎)

午後は「男山中学校吹奏楽部」のオープニング。中学生とは思えない演奏が披露されている中、昔懐かしいスウィングジャズ「Sing

Sing Sing」を披露されました。1歩前に出たアドリブ演奏、「中学生がアドリブ、すごい」と、観客の体も動く手拍子と惜しみない拍手。最初のドラムソロも女の子が頑張ったし、1年後の成長を聴いてみたいとの思いで楽器を眺めると、ドラムにセットされたシンバル「Zildjian」が輝いていました。アドリブは理論や練習で出来るものではなく、聴くことを優先し、聴くのが半分、練習が半分で、手ほどきがあったとしても、中学生でよくやりましたよ。(武田)

本日の催し物、大変ご苦勞様でした！もう何回か継続できれば！八幡市PR不足！(70歳代)

実現可能には現在懐疑的ですが、それでも目標に向かって努力していきたい。この地球上の生きとし生けるもののために、希望は失わず頑張っていきたいと思っています。科学一辺倒の発展を目指してきた私たちの社会の反省を加えて。(70歳代)

子供たちの未来を守るために現実に動いていきたい。(30歳代)

環境については、小さい頃から少しでも学ぶことが大事だと思うので、良いイベントだと思います。(60歳代)

環境を通してエコを知ることが

できることは、とても良いことだと思います。小学生時代にこのような体験ができることは、これから生きていくうえで何かの種になってくれることを願います。(50歳代)



お知らせ

◎新たな読者を募っています。
無料になっております。

八幡市内については自力で配達しております。市外については郵送しておりますが、財政的な厳しさが増した現状から、暫時減らす努力をしております。市外の読者が引き続き読者を希望する場合は、会員などの関係者を除き、郵送代にあたる年間1200円の負担をお願いしたいと思っております。なお、読者を辞退される方は、遠慮なくご連絡ください。

◎広場の原稿を募集しております。

内容は自由で、時数は400字原稿用紙4枚以内でお願いいたします。掲載については編集委員会での判断ですが、特別な理由がない限り掲載できるように努めます。掲載された原稿に対し、反論する記事が掲載される場合もあります。

◎八幡ルネッサンス運動は、その名前の由来にあるように、22世紀に向かって活動していくために、広く市民の参加をお願いしております。

創造的、文化的、建設的な取り組みには多様な能力が欠かせません。参加をいただいて力を発揮していただきたく、そのための努力は惜しみません。

◎22世紀八幡ルネッサンス運動(以下、八幡ルネ)の趣旨と活動に賛同できる「呼びかけ人」をお願いしております。

賛同していただけることで、八幡ルネの活動の励みに繋がります。

◎皆様からの意見をお聞きしたいと思っております。

私たちは自分たちのスタイルで一生けんめいに活動しておりますが、気づかない点も少なくありません。また、気づいてもどうにも

できないこともあります。こうした状況で、どのように問題をたて、どのように考え、どのように実行するかは、いつでも大変な事項です。言葉が整えられて綺麗であるほど、壁も大きいと考えています。八幡ルネは26年間活動を行ってきました。今までもたくさんの方をいただけてきました。私たちに遠慮なく声を寄せてください。直面した一つひとつの事を試練として受け止め、22世紀という八幡の新しい世紀に向かって心意気を示したいと考えています。



【訃報】

中野芳春さん

中野芳春さんが3月15日、病氣のため逝去されました。享年78歳。22世紀八幡ルネッサンス運動の呼びかけ人に2011年8月27日から加わり、「ひろば」の編集委員として活動されました。また、市内で能面教室を開いたり、毎年、能面展を開催したりされました。たびたび海外へも出かけ、中国、イタリア、フランスなどで能面の紹介や普及に尽力されました。